

第3日の成績

鳴門	5	12	5
生光	5	1	5
鳴門	5	1	5
鳴門	5	1	5
鳴門	5	1	5

高校野球の第76回徳島県春季大会第3日は27日、鳴門オロナミンC球場とJ Aアグリあなんスタジアムで1回戦1試合と2回戦3試合が行われた。2回戦では第1シードの鳴門が12-5の八回コールドゲームで徳島北に快勝。生光学園は5-1で城南を、第2

県高校野球 春季大会 第3日

シード鳴門渦潮は5-0で板野を破り、それぞれベスト8に進んだ。富岡西は13-3の五回コールドゲームで吉野川・池田辻を下し、2回戦に勝ち上がった。大会4日の28日は、鳴門オロナミンC球場で2回戦1試合が行われる。(岩村純志、木村恭明)

生光学園 効率よく得点 城南 四回以降連打出ず

城南対生光学園 5回裏、生光学園2死一、三塁、安齋が右中間本塁打を放ち5-1とする。J Aアグリあなんスタジアム

○生光学園は投打がかみ合った。1点リードの五回2死一、三塁から右中間本塁打を放った3番安齋は「初球の甘い直球を積極的に振っていつ

【評】生光学園が6安打で5得点と効率よく攻めた。1-1の四回、無死二、三塁から一ゴロの間に三塁走者が生還して勝ち越すと、五回には安齋が右中間に3点本塁打を放った。右腕大山が6回1失点と試合をつくり、救援した右腕川勝も3回を1安打無失点でしのいだ。城南は三回に大村の通時打で一度は追い付いたものの、四回以降は連打が出なかつた。



た」と振り返った。昨秋の県大会準々決勝で鳴門に完封負けして以降、チャンスに1本出るようにと紅白戦など素戦練習を重ねてきたといい、「やっ」とを主体に3回を投げ、5三振を奪った。「冬場の走り込みで体重を5kg落とし、体の切れが良くなった」と満足そう。再び

鳴門と準々決勝で対戦するところが決まり、「先発、救援どこでも投げられる。自分が抑えて勝利に貢献したい」と言葉を期した。

【城南】	打安点	打安点	
⑥	4 2 1	⑥	3 1 0
⑦	4 4 1	⑦	3 0 0
⑧	4 3 1	⑧	3 4 3
⑨	4 4 0	⑨	3 1 0
⑩	4 3 1	⑩	3 0 1
⑪	4 4 0	⑪	3 0 0
⑫	4 4 0	⑫	3 0 0
⑬	4 4 0	⑬	3 0 0
⑭	4 4 0	⑭	3 0 0
⑮	4 4 0	⑮	3 0 0
⑯	4 4 0	⑯	3 0 0
⑰	4 4 0	⑰	3 0 0
⑱	4 4 0	⑱	3 0 0
⑲	4 4 0	⑲	3 0 0
⑳	4 4 0	⑳	3 0 0
㉑	4 4 0	㉑	3 0 0
㉒	4 4 0	㉒	3 0 0
㉓	4 4 0	㉓	3 0 0
㉔	4 4 0	㉔	3 0 0
㉕	4 4 0	㉕	3 0 0
㉖	4 4 0	㉖	3 0 0
㉗	4 4 0	㉗	3 0 0
㉘	4 4 0	㉘	3 0 0
㉙	4 4 0	㉙	3 0 0
㉚	4 4 0	㉚	3 0 0
㉛	4 4 0	㉛	3 0 0
㉜	4 4 0	㉜	3 0 0
㉝	4 4 0	㉝	3 0 0
㉞	4 4 0	㉞	3 0 0
㉟	4 4 0	㉟	3 0 0
㊱	4 4 0	㊱	3 0 0
㊲	4 4 0	㊲	3 0 0
㊳	4 4 0	㊳	3 0 0
㊴	4 4 0	㊴	3 0 0
㊵	4 4 0	㊵	3 0 0
㊶	4 4 0	㊶	3 0 0
㊷	4 4 0	㊷	3 0 0
㊸	4 4 0	㊸	3 0 0
㊹	4 4 0	㊹	3 0 0
㊺	4 4 0	㊺	3 0 0
㊻	4 4 0	㊻	3 0 0
㊼	4 4 0	㊼	3 0 0
㊽	4 4 0	㊽	3 0 0
㊾	4 4 0	㊾	3 0 0
㊿	4 4 0	㊿	3 0 0